

## 式 辞

さわやかな花の香りに包まれた春爛漫の本日、平成二十七年度 大阪府立桃谷高等学校通信制の課程、(昼間部・日夜間部) 入学式を挙げるに当たり、後援会会長様をはじめ、ご来賓の皆様、そして多くの保護者、関係者の皆様のご列席を賜り、心からお礼申し上げます。

さて、只今、入学許可をいたしました日夜間部256名(昼間部386名)の皆さん、入学おめでとうございます。

新入生の皆さんは、今日のこの日をどのような気持ちで迎えられたのでしょうか。新たに始まる高校生活への希望や喜び、あるいは不安や心配、おそらく両者が入り交じった思いであると推察します。皆さんの高校生活が有意義なものとなるよう心からお祈りいたしますとともに、私たち教職員もそのために、決意を新たにしているところです。

さて本校は、昭和二十三年に府立大手前高等学校の通信教育部を前身とし、昭和四十一年にこの地に独立しました。その後、定時制の課程が併置され、現在、二課程五部を有し、他の高校では見られない多様な教科科目の開設や府民の方を対象とした聴講制度や公開講座を開設するなど、特色のある高等学校であり、来年度創立五十周年を迎える歴史のある学校です。

新しく皆さんをお迎えした本校では、多くの生徒がいろいろな事情や困難を乗り越えながら、新たな目標をもって学んでおられます。中学校卒業後、すぐに入学された方、かつて他の高校に入学し、思いを新たに本校で学ばれる方、自分の夢の実現のため本校に入学された方、また社会人として活躍されながら勉学の意欲に燃えて入学された人生の先輩など、年齢も経験も異なる様々な方が共に学ぶ場となっています。

通信制課程における皆さんの高校生活は、多くの部分で皆さんの気持ちの持ち方、心構えにかかっていると言えます。スクーリングを受講し、決められた期日までにレポートを提出し、さらに定期考査を受け、学習内容を十分に習得した場合に初めて単位が認められ、単位を積み重ねることで卒業にたどり着くことができます。

言葉では簡単ですが、これからの学習は、時間を上手くやりくりして、仕事と両立、あるいは、家庭生活と両立させるなど、皆さんそれぞれの苦勞を乗り越えながら、少しずつ単位を積み上げ、卒業への道を歩んで行くことになります。

ただ、それは決して孤独な学習ではありません。皆さんが提出するレポートは、担当の先生によってきめ細かな添削指導がされ、皆さんの学習を温かく支援します。レポートは単にマルバツで点数が付けられるのではなく、皆さんの努力に対するねぎらいや励ましの言葉があったり、勉強の楽しさを伝えてくれる言葉もあったりと、皆さんと先生の貴重な心の交流の場にもなります。

ここで、私からみなさんの心にとどめてほしいことを三つお願いします。

一つめは、「初心を忘れず、自分の夢を大事にしてほしい」ということです。

皆さんはこれからの学習に際し、時間をやりくりしながら、仕事や家庭生活との両立を図り、少しずつ単位を積み上げていきます。「卒業」という目標やその先にある自分の夢を常に持ち続けてほしいと思います。この春には、「英語を学びたい」という自分の夢を持って、平成 20 年 76 歳で本校に入学した女性が、見事大学を卒業され「83 歳学生 喜びの卒業」ということで新聞記事が掲載されるといったうれしい出来事がありました。

今日、今、このときの気持ちを忘れずに、いてほしい。努力の積み重ねが大きな力になり、結果「卒業」に至ることを、心にしっかりと刻んでほしいと思います。

二つめは、「出会いを大切にする」ということです。

学校でのスクーリング、また遠足、体育祭や文化祭などの学校行事、あるいはクラブ活動では、同じ志をもつ、世代を超えた多くの仲間との「出会い」があります。最初は不安なことやとまどいもあるかと思いますが、先生方との「出会い」、また一緒に学ぶ仲間との「出会い」を大切にして、力強く前進を続けてほしいと願っています。

三つめは、「思いやりの心と感謝の気持ちを忘れない」ということです。

本校では、幅広い年齢層の方が共に学んでいます。人は決して一人で生きているのではありません。あなたの知らないところにも色々な人生があります。あなたの人生がかけがえのないように、あなたの知らない人生もまたかけがえのないものなのです。自分を大切にし、他人を思いやる心、助け合い仲間と支え合う心、両親、家族、友達、先生方、自分を支えてくれている人への感謝の気持ちを決して忘れずに生活してほしいと願っています。そうです。あなたの周りには、必ずあなたを支えてくれる人がいるということを忘れないでください。

皆さんのこれからの桃谷高校での生活が人生の素晴らしい一ページとなることを祈っています。

最後になりましたが、新入生の保護者、並びに関係者の皆様、本日は本当におめでとうございます。私たち教職員一同、生徒の皆さんの目標達成のために全力を尽くして支援してまいります。今、申し上げましたとおり、卒業までの道のりは決してたやすいものではなく、学校だけの力で到達できるものではありません。どうかこれからも生徒の皆さんを見守り、しっかりと支えていただきますようお願い申し上げます、式辞といたします。

平成二十七年四月十二日（十三日）

大阪府立桃谷高等学校

通信制の課程

准校長 八 巻 敏 幸